

各種団体意見交換会結果の概要

1. 目的

第6次総合振興計画を策定するにあたり、各種団体の現状や課題、今後の取り組みや町への要望などを把握すること。

2. 実施概要（全3回）

- (1) 実施日程 【第1回】令和元年12月2日（月）
【第2回、第3回】令和元年12月5日（木）
- (2) 実施場所 芦屋町役場 4階 44会議室
- (3) 参加団体数 15団体
- (4) 実施方法 各種団体意見調査シートを事前送付し、回答をもとに各団体の代表者（2名程度）と1時間30分のグループヒアリングを行った。

3. 参加団体

分野	団体名	開催日時
コミュニティ (6団体)	・ 芦屋町老人クラブ連合会 ・ 芦屋町区長会 ・ 芦屋町文化協会 ・ 芦屋町国際交流協会 ・ 芦屋町手をつなぐリボンの会	令和元年12月2日(月) 13:30~15:00
	・ 芦屋町体育協会	令和元年12月5日(木) 15:30~17:00
産業振興 (4団体)	・ 芦屋町代表農事組合 ・ 遠賀漁業協同組合 ・ 芦屋町商工会 ・ 一般社団法人芦屋町観光協会	令和元年12月5日(木) 13:30~15:00
教育・福祉 (5団体)	・ 芦屋町社会福祉協議会 ・ 芦屋町4校PTA連絡協議会 ・ 芦屋町青少年健全育成町民会議 ・ 芦屋町人権・同和教育研究協議会	令和元年12月5日(木) 15:30~17:00
	・ 芦屋町民生委員・児童委員協議会	令和元年12月5日(木) 13:30~15:00

4. 団体における問題・課題

(別紙)

5. 団体からの問題・課題への対策・対策の提案

(1) 人材不足

実施中の対策・対策の提案	分野
<p>【実施中の対策】</p> <p>① 講習会等は周辺市町と連携して行っている。</p> <p>② 他市町の団体から人材支援を得ることがある。</p> <p>③ 市町村をまたぐ活動をしているので、町外者の協力を得ている（町外役員）。</p> <p>④ 航空自衛隊芦屋基地のOBが代々役員を務めており、退任する際に新たなOBに引き継ぎしている。</p> <p>⑤ 役場職員の協力を得ている。</p> <p>【対策の提案】</p> <p>① 他団体の取り組みで目的が似たものであれば、連携して取り組めないか。</p> <p>② ボランティアセンターに登録している方に、取り組みに参加してもらえないか。</p>	コミュニティ
<p>【実施中の対策】</p> <p>① 新規就農者確保に向けては、行政と連携し取り組んでいる。</p> <p>② 芦屋・山鹿の2箇所で、事業者同士の寄り合いを2～3ヶ月ごとに実施している。</p> <p>③ 水路を共同保全するなど、事業者同士で連携している。</p> <p>【対策の提案】</p> <p>① 新たな担い手を生むためにも、産業振興を盛り上げていくような取り組みを進めたい。</p>	産業振興
<p>【実施中の対策】</p> <p>① 社会福祉協議会ではシルバー人材（60名ほど）や、自主的にボランティアとして携わってくれる民生委員などで会としての取り組みを支えてもらっている。</p> <p>② イベントへの支援など、他市町の団体と連携した取り組みを行っている。</p> <p>【対策の提案】</p> <p>なし</p>	教育・福祉

(2) 事業数（取組み）の増加

実施中の対策・対策の提案	分野
【実施中の対策】 なし 【対策の提案】 ① 他団体の取組みで目的が似たものであれば、連携して取組めないか。	コミュニティ

(3) 住民の関心が低い

実施中の対策・対策の提案	分野
【実施中の対策】 なし 【対策の提案】 ① 住民の「誰かがやってくれる」という意識を改善していきたい。	コミュニティ
【実施中の対策】 なし 【対策の提案】 ① 教育と福祉は基本的人権に関わる。一人ひとりの人権が守られるよう、住民の意識や関心をもっと高めていきたい。	教育・福祉

(4) その他

①活動拠点がない

実施中の対策・対策の提案	分野
【実施中の対策】 なし 【対策の提案】 ① 団体の活動拠点を設置する。	コミュニティ

6. 行政と連携して取り組みたいこと・行政への要望等

(1) コミュニティ分野

分類	問題・課題	連携して取り組みたいことや要望
行政と団体・団体 同士活動の連携 (連携支援)	<ul style="list-style-type: none"> ① 1つの団体単位で活動していくのに限界を感じている。 ② 人材不足にも関わらず取り組む事業の数が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 複数の団体で、同じ目的で実施している取り組みは連携していきたい。ただし、団体だけで取り組みの整理や協議を進めることは難しいため、行政に支援してほしい。

(2) 産業・振興分野

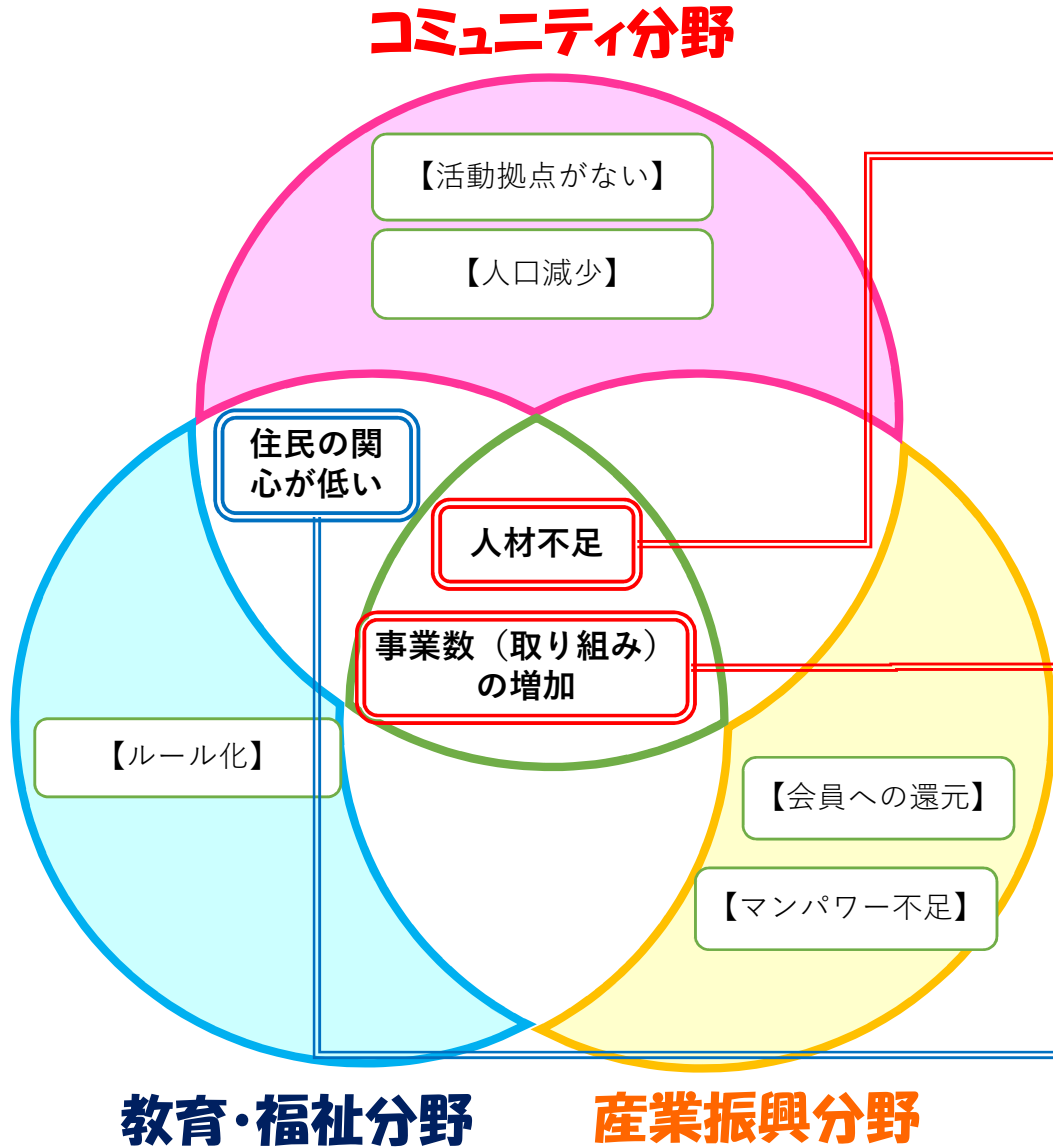
分類	問題・課題	連携して取り組みたいことや要望
芦屋町の若者が 集い語る場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 若者の声が活かされにくいように感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 産業は分野が異なるとなかなか交流が少ない。芦屋町で様々な分野で活動を進めている(進めたい)若者が集まり、連携して未来に向けた取り組みを生む場をつくってもらいたい。

(3) 教育・福祉分野

分類	問題・課題	連携して取り組みたいことや要望
長期的な団体運営 の維持	<ul style="list-style-type: none"> ① 長期的な団体運営のためには効率的に活動するだけでなく、住民(特に子どもたち)の意識や心を育む取り組みや教育が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 住民の意識や心を育む取り組みや教育を推進してほしい。

【団体における問題・課題】

別紙



コミュニティ分野

【会員やボランティア等の人材不足】

- 1つの団体単位で活動していくのは限界である。
- 団体構成員の高齢化が加速している。
- 役員不足である。

産業振興分野

【産業の低迷・担い手不足】

- 経営者が高齢化している。
- 経営難により、意欲が低下している（継承の意向の低下）。
- 組合の支所の合併が進んでいる（組合員数が一定を下回ると解散になるため）。

教育・福祉分野

【会員やボランティア等の人材不足】

- 活動参加層の偏りがある（女性の人権テーマの場合、女性の限られた層しか参加しない）。
- 役員の高齢化により、今後も取り組みを続けるために必要となる次世代への継承に向けた取り組みができていない。
- 短期任期により、活動の引継ぎが困難である。

コミュニティ分野

【取り組み・事業数が多い】

- 団体の人材の数が減少していくのに対し、取り組みの数が増えている。
- イベント同士で開催日程を調整していないため、お客さんを取り合ってしまう。集客が減ると、取り組みへのモチベーションも下がってしまう。

産業振興分野

【取り組み・事業数が多い】

- 町からイベントの事務局を任されることが多く、団体本来のミッションとギャップを感じる。

教育・福祉分野

【参加要請の増加】

- 他団体の解散などの理由で会議などの参加要請が増えている。

コミュニティ分野

【住民の関心が低い】

- イベントの参加者が固定化されている。
- 「誰かがやってくれる」という意識がある。

教育・福祉分野

【住民の関心が低い】

- イベントの参加者が少ない（固定化されている）。